

ホームページのご紹介

『羽田空港BIG BIRD』ホームページ

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>



ショッピングサイト『羽田空港セレクション』

<http://www.bigbird-shopping.com/>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月に開催いたします	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞	

株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (フリーダイヤル)

 日本空港ビルディング株式会社
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号
(第1旅客ターミナルビル)
TEL: 03-5757-8000
<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>



株主通信

株主・投資家の皆さまへ

第68期 第2四半期 | 2011年4月1日～
2011年9月30日



2011年11月
OPEN!

第1旅客ターミナルビル リニューアルオープン



日本空港ビルディング株式会社
証券コード: 9706



代表取締役社長

鷹城 勲

空港での新たな事業展開に加え、空港外への事業展開にも積極的に挑戦することで、企業価値向上を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第68期の第2四半期連結累計期間（2011年4月1日から2011年9月30日まで）のご報告をするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響等により、企業収益は減少するなど、景気が依然として厳しい状況で推移する中で、個人消費は持ち直すなど、回復に向けた動きがみられております。また、先行きにつきましては、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、原子力災害の影響や海外景気の減速懸念に加え、為替レートや株価の変動等により、景気が下振れするリスクが存在しております。

航空業界におきましては、航空旅客数は、国内線・国際線とも東日本大震災の影響等により、年度当初は対前年同期比で大幅に減少しましたが、減少幅は次第に縮小いたしました。なお、羽田空港における国際線航空旅客数は、昨年10月のD滑走路供用開始に伴う国際定期便の就航により、対前年同期比で大幅な増加となりました。

当社グループは、中期経営計画（計画期間：2010年度から2012年度）の2年目として、羽田空港国内線第1旅客ターミナ

ルビルリニューアル計画、新国際線旅客ターミナルビルでの受託業務や卸売等を着実に推進したほか、商業施設の各種活性化策等を積極的に実施するとともに、店舗経費や水道光熱費の削減等、徹底したコスト削減策を実行いたしました。

新たな取り組みとして、中国の成都双流国際空港（四川省成都市）に物販店舗を開店するなど、海外事業展開を進めました。また、羽田空港国際化に伴う観光振興面および防災対策面での活用を目的として、多摩川左岸に船着場を整備したほか、羽田空港を利用されるお客さまに一層ご満足いただけるサービスや品揃えをご提供すること等を目的として、株式会社JALUXおよび双日株式会社と資本業務提携を行いました。

当第2四半期連結累計期間は、羽田空港国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）に係る減価償却費の増加等により、中期経営計画においても、利益の減少が予想されていたところではありますが、これに加え、羽田空港における国内線旅客ターミナルビルに係る航空会社用事務室等の貸返却による家賃収入の減少や、国有財産一時使用料の値上げ、さらには東日本大震災に伴う国内線・国際線航空旅客数の落ち込み等の影響を受けました。

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要課題の一つと

位置づけており、より一層積極的な姿勢で経営に取り組み、業績の向上に努め、羽田空港国内線旅客ターミナルビル増築工事等の大規模投資等を考慮し、内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本としております。

2012年3月期配当予想につきましては、2011年3月期の決算発表時点では、今後の業績等を勘案した上で別途開示させていただくこととしておりましたが、最近の状況および業績動向ならびに利益配分に関する基本方針等を踏まえ、総合的に検討を重ねた結果、中間配当につきましては、1株当たり3.5円、期末配当予想を1株当たり3.5円とすることといたしました。これにより、年間配当金は1株当たり7円となる予定です。

当社グループが営業の基幹とする羽田空港の中長期的なポテンシャルは大きく、さらなる発着枠の増加や航空自由化など、航空業界を取り巻く環境変化を大きなビジネスチャンスと捉え、羽田空港における新たな事業展開に加え、羽田空港外への事業展開にも積極的に挑戦することで、企業価値の向上を目指して着実に前進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

羽田空港全体のサービスレベルがさらに向上。

第1旅客ターミナルビル リニューアル工事 (出発エリア・屋上エリア) 完了

当社は、羽田空港国内線第1旅客ターミナルビルの出発エリアおよび屋上エリアにおけるリニューアル工事を本年2月より実施してまいりましたが、11月16日をもって一連の工事を完了しました。

今回のリニューアル工事は、旅客ターミナルビル間のサービスレベル平準化と、経年劣化対策、省エネ対策の3つを重点課題としています。また、環境演出においては他の旅客ターミナルビルとの相違を直感的に認識できるよう、第1旅客ターミナルビル独自のテーマ設定・演出を行っています。それは、日本の伝統的かつ美しい空間に共通する、シンプルで控えめでありながら、自然と一体となり、四季を感じ、利用されるお客さまの五感に響く空間演出であり、結果的に省エネ対策にも繋がる内容といたしました。

出発ロビーは、天井、壁面、床タイルを更新し快適性を向上させました。天窓を大きくすることで、より多くの自然光を取り込み、省エネにも配慮した空間を演出。上部壁面には、世界で活躍する2氏の作品——千住博氏による屏風絵「天空図屏風」とマイケル・ケンナ氏による日本を表現した写真——を新た

に設置しました。

ラグジュアリーで優雅な雰囲気でお客さまに出発前のくつろぎの時間をご提供し、国内線出発の拠点として、「日本の伝統」を感じながら、「日本の旅」へのチェックインを演出します。

ゲートラウンジと旅客コンコース※1は、全域において天井照明と床カーペットを一新。中央部には広く使いやすい授乳室と多目的トイレ、喫煙室を設置し利便性も向上させました。本年9月には、「東京の今」「日本の今」をコンセプトにした物販店舗3店舗、飲食店舗4店舗を「CAPTAINS' TOKYO(キャプテンズ トーキョー)」として新たに開業しています。

「日本の今」を牽引するキャプテン(CAPTAIN)達にふさわしい施設で「日本の空」へ飛び立つ高揚感をかきたてます。

屋上エリアは、全域にわたりウッドデッキ化するとともに、フェンスのワイヤー化を実施して快適性を向上させました。6階南側には、新たに飲食店「SKY STATION(スカイステーション)」をオープン。「TOP OF HANEDA GULLIVER'S DECK(トップ オブ ハネダ ガリバーズ デッキ)」※2として、自分が小人の世界を旅するガリバーになったかのような風景

が眼下に広がるデッキで、滑走路と一体になったように感じる空間を演出します。

「日本の首都」を目の前に眺めながら、心地よい風の中で、「日本の空港」を体感いただけます。

リニューアル工事に際しては、通常のサービスレベルおよびターミナル機能を確保しつつ、24時間体制で工事作業を進め、関係者の皆さまのご協力やご努力により、無事故・無災害で完了を迎えることができました。

到着エリアおよび軌道系アクセス連絡の要所となる地下エリアについても今後、リニューアル工事を鋭意実施し、皆さまにご満足いただける旅客ターミナルビルを目指して、さらなるサービス向上に取り組んでまいります。

● 工事概要

工事名称	東京国際空港第1旅客ターミナルビル リニューアル工事
施主	日本空港ビルデング株式会社
設計・設計監理	株式会社梓設計
デザイン監修	有限会社NAP建築設計事務所
工事監理	日本空港テクノ株式会社
コストマネージメント	株式会社三菱地所設計
施工	大成・竹中・清水特定建設共同企業体
施工場所	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号
工期	2011年2月3日～11月16日

(概要) 東京国際空港第1旅客ターミナルビルの大規模改修工事

・南北コンコース、ゲートラウンジならびに 中央部ゲートラウンジ改修工事(大成)	計36,320㎡
・出発ロビー関係改修工事(竹中)	14,680㎡
・展望デッキ改修工事(清水)	4,530㎡

※1 ゲートラウンジと旅客コンコースは、飛行機にご搭乗のお客さまのみがご利用いただけるエリアです。

※2 「GULLIVER'S DECK」の名称は、アイルランドの作家ジョナサン・スウィフトによって書かれた小説に由来します。

▼ 出発ロビー



▼ CAPTAINS' TOKYO



▼ 屋上展望デッキ



【物販エリア】

CAPTAINS' MARKET

空港初出店となる東京を代表する老舗ブランドや、有名パティシエがプロデュースする最旬スイーツをバラエティ豊かに展開。ご出張やご旅行のおともに最適なギフト・雑貨も取り揃えております。



▶ Fève (フェーヴ) ◀

パティシエ辻口博啓氏が手がける新しい感覚の豆スイーツ。見た目にもこだわり、素材の栄養はそのままに、豆乳を使用したかりんとうや焼き菓子をご用意しております。



▶ デザートサーカス ◀

デンマーク王室シェフチームのデザートシェフが1999年に設立したスイーツブランド。「Keep it simple (いつもシンプルでいこう)」をコンセプトに展開する、スカンジナビアスタイルのモダンスイーツです。



▶ 吉祥寺あまの ◀

薄いアメのような皮のカリッと食感と、生地サクサク感が特徴で、時間とともに皮とあんこが油となじみ、ふんわりとした饅頭になり、素材のうまみ、深みを感じていただけます。



▶ 岡埜栄泉総本家 ◀

東京・上野の「岡埜栄泉総本家」が羽田空港初出店。数種類の大福や最中などの定番商品をはじめ、さまざまな生菓子・焼き菓子をご提供いたします。



▶ 南青山 Shosaikan アネックス ◀

アイデア製品や先端テクノロジーを応用した高性能な文具、毎日使いたくなるデザイン文具など、さまざまな雑貨・文具を取り扱っています。



CAPTAINS' TOKYO 全体マップ



【飲食エリア】

CAPTAINS' TABLE

バラエティに富んだ数々のグルメをご搭乗の直前まで存分にご堪能いただけます。



▶ JAPAN GOURMET PORT (ジャパン グルメ ポート) ◀

羽田空港にいながら、日本全国の味をお楽しみいただけます。また、羽田空港限定のオリジナル地ビールは、フルーティなアロマと若干の甘味が残る、飲みやすくすっきりしたのど越しの軽さにこだわりました。



CAPTAINS' TOKYO 概要

営業開始日 2011年9月16日グランドオープン
 場所 第1旅客ターミナルビル2階
 出発ゲートラウンジ内中央(手荷物検査場通過後)
 店舗合計面積 404.67㎡
 店舗数 物販3店舗、飲食4店舗 計7店舗
 物販エリア 日本空港ビルデング株式会社
 飲食エリア 東京エアポートレストラン株式会社

▶ SunFresh Café (サンフレッシュ カフェ) ◀

その場でプレスする香り高い焼き立てホットサンド、新鮮な野菜や果物を絞った栄養たっぷりのフレッシュジュースをご提供いたします。



▶ Auntie Anne's (アンティ・アンズ) ◀

23の国と地域で1,100店舗以上を展開する、アメリカ発、世界最大のソフトプレッツェルブランド「アンティ・アンズ」が国内空港初出店。国内では東京都内では購入できないアンティ・アンズのプレッツェルの味を羽田から全国へお持ちいただけます。



▶ 又こい家 ◀

羽田空港で気軽に味わえる本格江戸前にぎり。産地表示を徹底し、安心して召し上がっていただけることをモットーに、新鮮で旬なネタを全国から直送でご提供いたします。



新国際線旅客ターミナルビル拡張計画

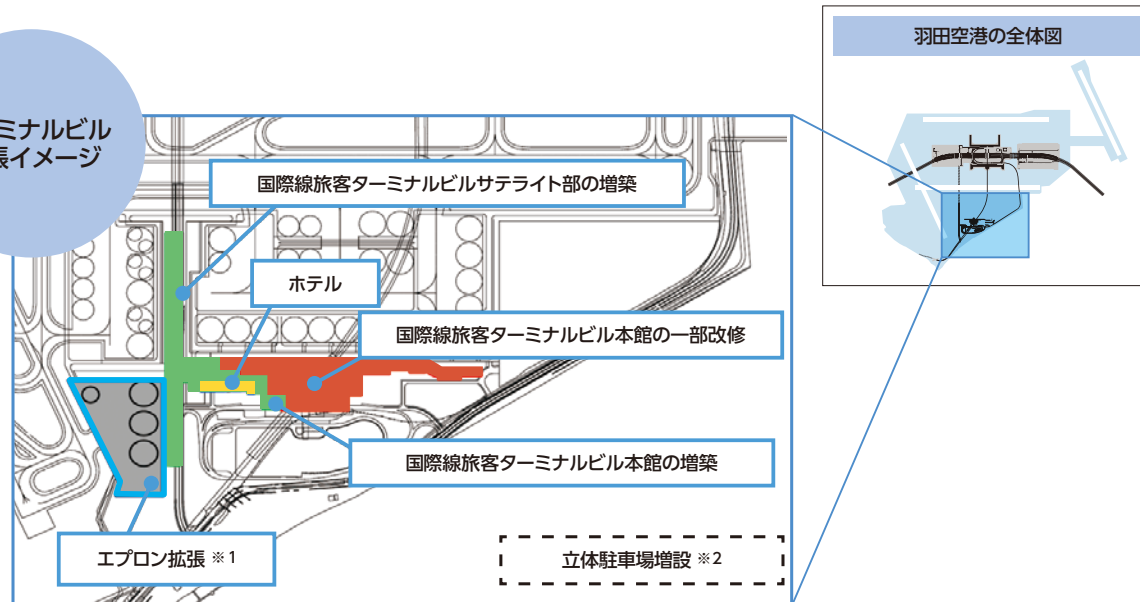
昨年10月、羽田空港に地上5階、延床面積約159,300㎡の新国際線旅客ターミナルビルが完成し、供用開始しました。同ターミナルビルは、当社が中核となり航空会社等と出資設立した「東京国際空港ターミナル株式会社」が建設・管理を行い、当社グループは、施設維持管理業務、商業店舗運営・企画、旅客サービス等の基幹業務の運営を一括受託し、併せて物販・飲食店、旅行業等の事業展開を行っています。

羽田空港は、2013年度末には国際線の昼間の年間発着枠が3万回増えて6万回となり、昼夜合わせて9万回となる予定のため、さらなる旅客増が期待されます。

このような旅客増に対応するため、旅客ターミナルビル等の拡張について関係者で協議・検討の結果、今般、国(国土交通省東京航空局)と東京国際空港ターミナル株式会社との間で、東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業契約書の変更契約が締結されました。今後、関係者間で調整の上、国際線旅客ターミナルビル等の具体的な拡張が実施されます。

当社グループは、この拡張計画について、増資への協力等を含め、全面的にサポートし、羽田空港の24時間国際拠点空港化に一層貢献してまいります。

ターミナルビル
拡張イメージ

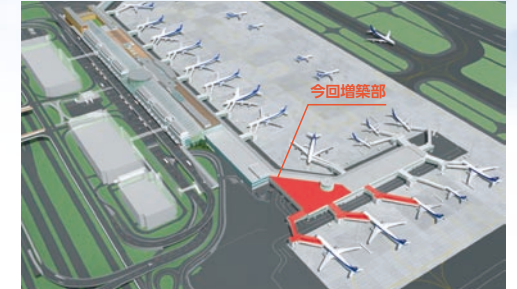


※1 エプロン拡張は国が施工
 ※2 立体駐車場については需要動向等を見極めた上で判断
 出典：東京国際空港ターミナル株式会社プレスリリース

第2旅客ターミナルビルⅣ次計画

2013年春に予定されている羽田空港国内線第2旅客ターミナルビル南側エプロン整備(3スポット増設。国が施工)に対応するため、当社は同ターミナルビル南側ゲートラウンジ(出発待合室)、到着コンコースならびに71番~73番スポット固定橋等の増築工事に本年中に着手する予定です。

増築部の供用開始後は、固定橋からの搭乗率が増加するなど、利便性、快適性が向上します。

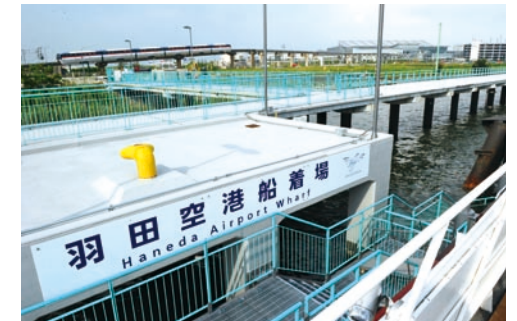


増築イメージ

「羽田空港船着場」本格運用開始

当社は、東京湾および多摩川に面した羽田空港の利点を生かし、観光振興面および防災対策面での活用を考慮した水上アクセス機能の整備を検討してまいりましたが、国土交通省より河川法に基づく許可を受け、羽田空港西側の多摩川左岸において、船着場の整備工事に本年5月2日着手しました。この船着場は本年7月16日より運用開始となり、12月初めには待合室も完成しました。

お台場、横浜方面などとの間を運航する遊覧船に乗って、海上から飛行機の離着陸の様子や四季折々の風景をご覧いただくことができます。また、屋形船や団体旅客のチャーター船なども発着することができます。昨年10月オープンの新国際線旅客ターミナルビルと併せて、新たに東京の観光名所が加わります。陸海空すべてそろった、新しい羽田空港の魅力にぜひご期待ください。



羽田空港船着場

船の運航・営業に関しては ▶▶ 浜松町旅行センター ☎ 03-3433-3511

JALUXと初の合併会社 「日本エアポートデリカ株式会社」を設立

当社は、本年9月30日、食料品製造事業（弁当を中心とする日配惣菜類）への参入を目的として、株式会社 JALUX との共同出資により、「日本エアポートデリカ株式会社」を設立しました。

これに先立ち、本年8月3日、当社は、JALUX および JALUX の筆頭株主である双日株式会社との間で、空港リテール事業等に関し、資本提携を含む業務提携に関する基本契約を締結しました。

当社と JALUX は、羽田空港をはじめとする空港旅客ターミナルビル内での物品販売業や飲食業を中心に、共通する

事業を営んでおり、双日と JALUX は、両社間のさまざまな協業を通して、空港・航空分野の多岐にわたる事業領域において、事業展開の拡充を図っております。

日本エアポートデリカ株式会社は、この業務提携に関する基本契約の一環として設立された初の合併会社で、「羽田空港をより魅力的な空間とする」というコンセプトのもと、顧客ニーズに合致した惣菜類等の新商品の開発による売上増加や、共同仕入等による生産性向上などの協業効果の実現を目指し、航空旅客向けの食料品製造にとどまらず、外販マーケットの拡充など幅広く事業を展開してまいります。

● 合併会社の概要

会社名	日本エアポートデリカ株式会社 (Japan Airport Delica Inc.)	
所在地	東京都大田区羽田空港一丁目8番2号	
代表者	永井英和	
資本金	100百万円	
株主構成	当社 49%、JALUX 51%	
主な事業内容	羽田空港における食料品製造事業（日配惣菜類）ならびに食料品・食材・雑貨等に関する倉庫・物流事業	
事業開始日	2012年4月1日（予定）	

中国の成都イトーヨーカ堂5号店で 当社飲食店舗を開店



当社の中国（四川省成都市）における現地法人・羽双（成都）商貿有限公司は、本年11月8日、現地のイトーヨーカ堂5号店内に洋食店ならびにラーメン店をオープンしました。

当該飲食店舗は、現地で調達した食材を使い、中国国内で最も成長著しい成都市において、日本の洋食・ラーメン

等、本物の日本の味を提供してまいります。

羽双（成都）商貿有限公司は、本年6月に成都双流国際空港2階国際線出発ロビーに、日本ブランドを中心とした総合ギフトショップ「旅の佳品」を開店しており、今回の飲食店2店舗出店により、成都市での店舗展開は3店舗となります。

● 店舗の概要

名称	洋食レストラン グリル佳慕（ジャム）	日式ラーメン佳慕（ジャム）
面積	約132㎡（店中独立店舗）	約37㎡（フードコート内）
営業時間	月～木・日 9:00～22:00（金・土 22:30まで）	月～木・日 9:00～22:00（金・土 22:30まで）
主なメニュー	ハンバーグ、カレー、パスタ、デザートなど	豚骨ラーメン、タンタンメン、牛丼、親子丼など
		

● 現地法人の概要

会社名	羽双（成都）商貿有限公司 (Japan Airport Terminal Trading (Chengdu) Co., Ltd.)	
所在地	四川省成都市（成都双流国際空港内）	
代表者	董事長 土井勝二 代表者は当社の代表取締役副社長であり、本会社の董事長を兼任しております。	
資本金	200百万円	
株主構成	当社（100%出資）	
主な事業内容	成都双流国際空港内および成都市における物販事業、卸売事業、飲食事業	
設立日	2011年1月30日（営業許可証取得日）	

東日本大震災復興支援の取り組み

未来への教科書 写真展 in 羽田空港

当社とNPO法人映像情報士協会は、本年10月17日から12月26日まで「未来への教科書 写真展 in 羽田空港」を開催中です。東日本大震災の被災地の小中学生がプロカメラマンの協力を得ながら“復興に向けた希望の象徴”となるモチーフを選んで、半年間にわたり撮影した写真を、全国49都市と結ばれている羽田空港国内線旅客ターミナルビル内に展示し、復興の想いを各地へ発信しています。



Jazz HANEDA 2011

当社は、本年10月7日、羽田空港国内線第2旅客ターミナルビル2階出発ロビーにおいて、東日本大震災復興支援イベントとして、「Jazz HANEDA 2011 Supported by Blue Note Tokyo」を開催しました。テーマは「チャレンジ」。日本を飛び出して世界に挑戦し続けるプロミュージシャンたちと、プロを目指す音大生が、復興に向けて精一杯に頑張る被災地へ、自分たちの想いと応援メッセージを音に託して発信し、盛況に開催されました。

本年11月11日、第2弾として羽田空港国内線第1旅客ターミナルビル内レストランのエアターミナルグリル キハチ (KIHACHI) で、東北地方の食材を使用した復興支援ディナー「KIHACHI PRESENTS HANEDA JAZZ 2011」を開催しました。優雅なジャズと最高の料理、空港の夜景を楽しむ至福のひとつを提供するイベントとなり、ディナー代金の一部を支援金として被災地に寄付いたします。なお、第3弾も企画中です。



Jazz HANEDA 2011 Supported by Blue Note Tokyo



KIHACHI PRESENTS HANEDA JAZZ 2011

国内線旅客ターミナルビル内全エリアで無料無線LANサービスをスタート

当社は、お客さまの利便性向上のため、本年11月1日より、羽田空港国内線旅客ターミナルビル内の全エリアにおいて、無線LAN対応の機器（パソコン、スマートフォン等）をお持ちのお客さまが、無料でインターネット接続サービスをご利用いただける、無線LANサービスの提供を開始しました。なお、有料接続サービスも引き続きご利用いただけます。



羽田空港で三越伊勢丹グループ店舗を展開

当社は、羽田空港国内線第1旅客ターミナルビルにおいて、三越伊勢丹グループとの連携により、従来の店舗開発コンセプトとは一線を画す、メンズ雑貨を中心とした品揃えにラウンジ機能をプラスした新しい店舗展開計画を進めることを決定いたしました。2012年春より営業を開始する予定です。伊勢丹新宿本店メンズ館をベースとするこの新店舗計画は、旅客ターミナルビルにおける多様化するニーズ、また簡

素化される旅客動線、館内滞留スペースや滞留時間の変化等に対応し、旅客ターミナルビルに新たな付加価値とさらなる利便性の向上をもたらすことが期待されます。商品供給および接客・販売等については、三越伊勢丹グループが永年にわたり培ってきたノウハウ、おもてなしの心が最大限活かされ、東京の空の玄関である羽田空港ならではの新しいショッピング&ラウンジ空間が出現いたします。

コラム

本年12月より「羽田スタースイーツ」第7弾がスタート

2008年12月にオープンした「羽田スタースイーツ」は、多くの皆さまからご好評をいただき、本年12月1日に第7弾をスタートさせることができました。「羽田スタースイーツ」は“スターになるスイーツ”を全国、世界に広めていこうというコンセプトのもとに、厳選されたブランドが次々登場するスイーツのセレクトショップで、今回は第7弾として以下の4ブランドが羽田空港に初登場し、多くの皆さまにご満足いただいております。

ドミニク・サブロン

パリで注目されているブーランジェの一人“ドミニク・サブロン”氏のベーカリースイーツ。フランス産のAOCバターを使用した、香り豊かなクロワッサンがギフトBOXで登場。その他ベーカリーのパンを使用して作るソフトとハードの2種類のラスクが季節によってフレーバーが変わり、さまざまな食感と味が楽しめます。



代表商品：クロワッサンソフト/ラブ&ラスク各種

パティスリーブラザーズ

“世にないものを作ること”“常に新鮮な驚きをお客さまに提供すること”をコンセプトに、さまざまな野菜や果実を使用したスイーツ。素材そのものを生かし、見た目もカラフルな「見て美しい、食べておいしい」スイーツを展開します。注目のベジフルチョコレートは、日本各地で育った生野菜をそのままフライし、ベルギー産の上質なホワイトチョコレートでコーティングをした、野菜そのものの甘味とホワイトチョコレートの甘さがとても合った逸品です。



代表商品：ベジフルチョコレート

銀座 瑠璃

堂島ロールで有名な株式会社モンシュシュが、新たな業態として2010年に銀座に瑠璃本店をオープン。洋菓子を中心としていた株式会社モンシュシュの商品にない、かりんとうや大福、和の素材を使用したロールケーキなど、和をイメージした商品をメインに、東京発信のスイーツとして羽田空港に登場。注目は、あの有名な堂島ロールがそのまま大福になった堂島生クリーム大福。また、5種類の味が選べる新感覚大福が魅力的。



代表商品：堂島生クリーム大福

もなふいゆ

羽田空港発信ブランドで東京土産の新しいスイーツ。厳選した羽二重餅米を使用したもちりとしたこだわりの最中の皮で、3種類ほどのフレーバーのクリームをサンドした、和菓子風で新感覚の洋菓子最中。お土産用の箱売りから単品のバラ売りまで、お好みの味をお楽しみいただけます。



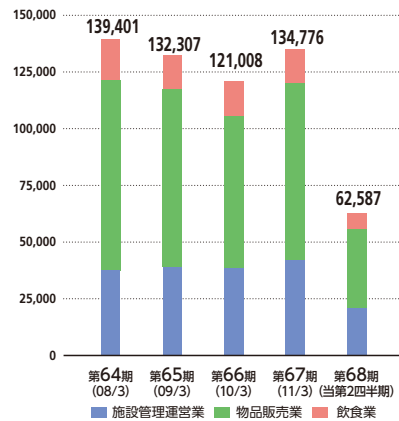
代表商品：もなふいゆ



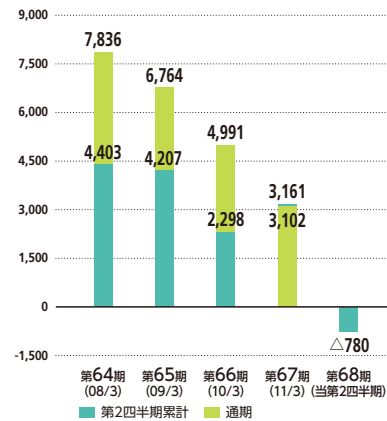
決算のポイント

営業収益は東日本大震災の影響等により、前年同期比3.8%減の625億円
 営業損益は羽田空港国内線第1旅客ターミナルビルリニューアル工事等による営業費用増により2億円の営業損失
 経常損益は7億円の損失、四半期純損益は9億円の損失

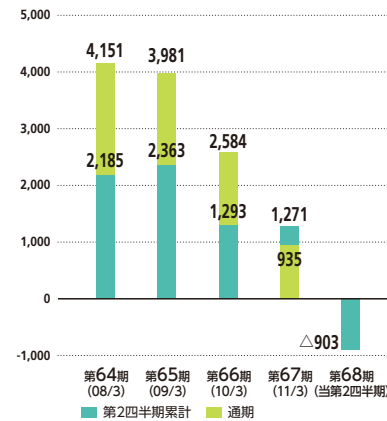
営業収益(百万円)



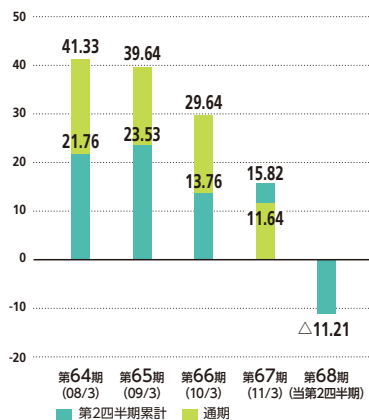
経常利益(百万円)



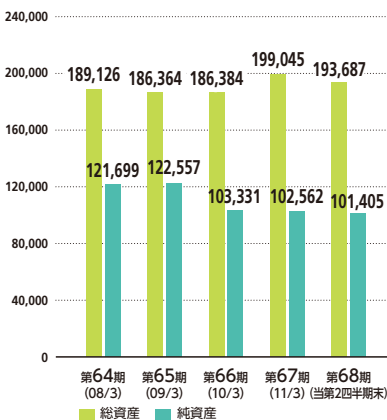
四半期(当期)純利益(百万円)



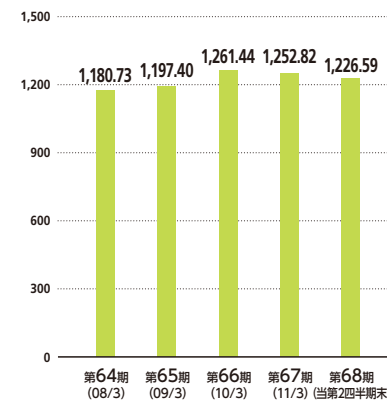
1株当たり四半期(当期)純利益(円)



総資産/純資産(百万円)



1株当たり純資産(円)



(単位:百万円)

四半期連結貸借対照表(要旨)	前期	当第2四半期
	2011年3月31日現在	2011年9月30日現在
流動資産	40,410	35,066
固定資産	158,634	158,620
有形固定資産	133,909	132,543
無形固定資産	1,804	1,945
投資その他の資産	22,921	24,131
① 資産合計	199,045	193,687
流動負債	28,354	30,550
固定負債	68,128	61,731
② 負債合計	96,483	92,282
株主資本	101,727	101,375
その他の包括利益累計額	△1,017	△1,737
少数株主持分	1,852	1,766
純資産合計	102,562	101,405
負債純資産合計	199,045	193,687

(単位:百万円)

四半期連結損益計算書(要旨)	前第2四半期	当第2四半期
	自2010年4月1日 至2010年9月30日	自2011年4月1日 至2011年9月30日
③ 営業収益	65,078	62,587
営業総利益	32,647	32,239
販売費及び一般管理費	29,258	32,476
④ 営業利益又は営業損失(△)	3,389	△237
営業外収益	587	776
営業外費用	815	1,319
経常利益又は経常損失(△)	3,161	△780
特別利益	—	26
特別損失	817	46
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,343	△800
法人税等	1,074	159
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,269	△960
少数株主損失(△)	△2	△57
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,271	△903

詳細な財務情報は、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください ▶ <http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>

- ① ▶ 資産合計/現金及び預金の減少や、その他流動資産の減少等により、前期末と比べ53億5千8百万円減少し、1,936億8千7百万円となりました。
- ② ▶ 負債合計/長期借入金の減少等により、前期末と比べ42億円減少し、922億8千2百万円となりました。
- ③ ▶ 営業収益/東日本大震災の影響で国内線・国際線とも航空旅客数が減少したことなどにより、営業収益は前年同期比3.8%減の625億8千7百万円となりました。
- ④ ▶ 営業利益/営業収益の減収、羽田空港国内線第1旅客ターミナルビルリニューアル工事等の営業費用の増加もあり、営業損益は2億3千7百万円の損失(前年同期は33億8千9百万円の利益)となりました。

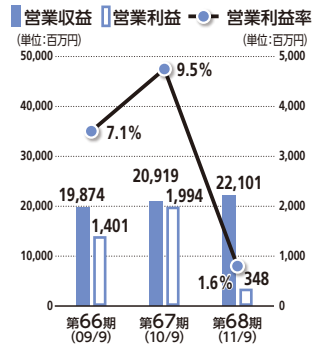
施設管理運営業

家賃収入につきましては、羽田空港国内線第1旅客ターミナルビルにおける航空会社用事務室等の貸室返却による減少があるものの、国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）の貸室面積増加等により、前年同期を上回りました。

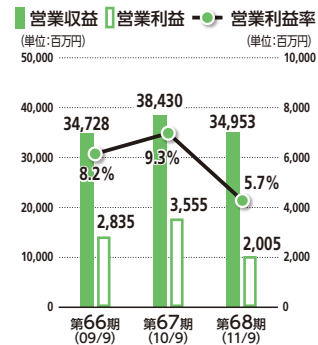
施設利用料収入につきましては、国内線旅客取扱施設利用料の改定により、国内線施設利用料収入が増加したものの、旧国際線旅客ターミナルビルの閉鎖が影響し、前年同期を下回りました。

その他の収入につきましては、新国際線旅客ターミナルビル施設維持管理等の業務受託収入等が増加したことにより、前年同期を大きく上回りました。

その結果、施設管理運営業の営業収益は221億1百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は、国有財産一時使用料の値上げや国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）に係る減価償却費の増加等により、3億4千8百万円（前年同期比82.5%減）となりました。



物品販売業



国内線売店につきましては、羽田空港国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）直営店舗展開等で販売促進を図ったものの、東日本大震災に伴う国内線航空旅客数の減少等が影響し、売上は前年同期を下回りました。

国際線売店につきましては、新国際線旅客ターミナルビルの直営店舗展開等による増加要因があったものの、旧国際線旅客ターミナルビルの直営店舗の閉店、東日本大震災および原子力災害、急激な円高に伴う訪日外国人の減少等が影響し、売上は前年同期を大きく下回りました。

その他の売上につきましては、新国際線旅客ターミナルビル店舗への卸売等により、売上は前年同期を上回りました。

その結果、物品販売業の営業収益は349億5千3百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は20億5百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

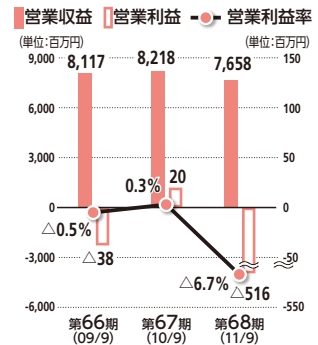
飲食業

飲食店舗につきましては、羽田空港国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）および新国際線旅客ターミナルビルでの直営店舗展開等の増加要因があったものの、国内線航空旅客数の減少等が影響し、売上は前年同期を下回りました。

機内食につきましては、東日本大震災および原子力災害に伴う、顧客である外国航空会社の欠航等により、売上は前年同期を下回りました。

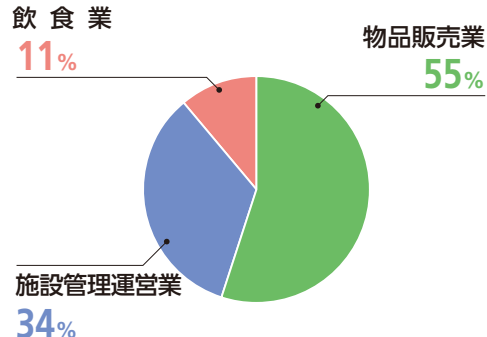
その他の売上につきましては、新国際線旅客ターミナルビル飲食店舗における運営業務受託等により、売上は前年同期を大きく上回りました。

その結果、飲食業の営業収益は76億5千8百万円（前年同期比6.8%減）、営業損益は、収益減少に費用の減少が伴わなかったことから、5億1千6百万円の損失（前年同期は2千万円の利益）となりました。



本文内の事業別営業収益には、セグメント間の営業収益が含まれます。

第68期第2四半期 営業収益比率



当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、以下の株主ご優待券を配布させていただいております。羽田空港国内線旅客ターミナルビル内物販・飲食店舗、エアポートラウンジおよび羽田空港新国際線旅客ターミナルビル、成田国際空港、関西国際空港等の指定店舗にてご利用いただけます。



ご所有株式数 100株以上1,000株未満の場合

ご優待券1枚 1,000円分

ご所有株式数 1,000株以上10,000株未満の場合

ご優待券2枚 2,000円分

ご所有株式数 10,000株以上の場合

ご優待券3枚 3,000円分

株主ご優待券は当社指定店舗にてご利用になれます。詳しくは、以下のURLをご覧ください。

http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/

(2011年9月30日現在)

株式の状況

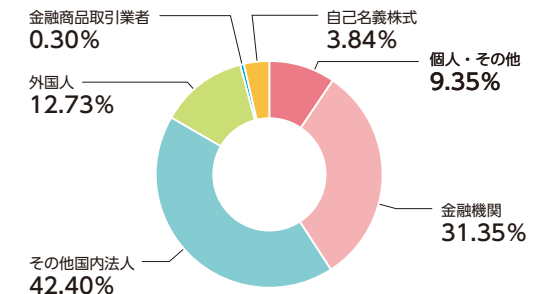
発行可能株式総数	288,000,000株
発行済株式の総数（うち自己株式 3,244,774株）	84,476,500株
株主数	5,916名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率* (%)
日本航空株式会社	4,398	5.41
全日本空輸株式会社	4,398	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	4.19
三菱地所株式会社	3,111	3.83
株式会社みずほコーポレート銀行	3,000	3.69
大成建設株式会社	2,831	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,525	3.10
日本通運株式会社	2,337	2.87
ジェーピーモルガンチェースバンク 385174	2,304	2.83

* 持株比率は自己株式 (3,244,774株) を控除して計算しております。

所有者別株式数分布



会社概要

CORPORATE DATA

(2011年9月30日現在)

会社概要

商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 ①航空旅客ターミナル施設、見学送迎施設等の建設、管理 ②航空運送事業者および空港構内営業者に対する事務室、店舗、作業場等の賃貸 (2) 物品販売業務 ①羽田空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 ②成田国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 ③関西国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 (3) その他のサービス業務 ①羽田空港利用者に対する案内業務、駐車場、旅行傷害保険代理業、ホテルあっせん等のサービスの提供 ②成田国際空港利用者に対する旅行傷害保険代理業

本社および営業所等

本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区大手町二丁目6番2号 日本ビル10階
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地 (関西国際空港内旅客ターミナルビル本館1階)
中部営業所	愛知県常滑市栄町一丁目124番地

役員

取締役会長	門脇 邦彦
代表取締役社長執行役員	鷹城 勲
代表取締役副社長執行役員	土井 勝二
専務取締役執行役員	横田 信秋
常務取締役執行役員	越智 久男
常務取締役執行役員	阿南 優樹
常務取締役執行役員	浅野 文郎
取締役執行役員	松本 真澄
取締役執行役員	米本 靖英
取締役執行役員	河合 誠
取締役	高木 丈太郎
取締役	小谷 昌
取締役	大貫 哲也
取締役	洞 駿
取締役	櫻井 正志
常勤監査役	森田 一夫
常勤監査役	小川 洋一
監査役	赤井 文彌
監査役	樋口 公啓
監査役	大鷲 雅一
専務執行役員	田中 一禎
専務執行役員	山田 克爾
執行役員	岩松 孝昭
執行役員	丸岡 晋
執行役員	田村 幸宏
執行役員	徳武 大介
執行役員	田中 一仁
執行役員	大谷 益夫



1953年、当社は羽田空港の旅客ターミナルビルの建設・管理運営を目的として設立されました。
現在、当社グループは、施設管理運営業のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

CS理念

「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」のもと、すべてのお客さまにご満足いただけるよう、サービスの向上に取り組んでいます。

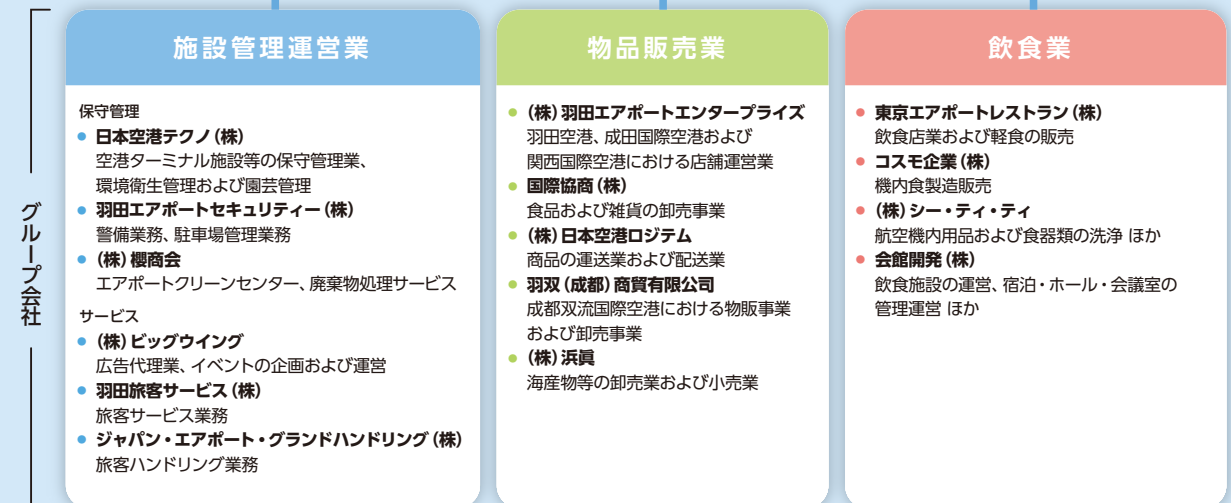
基本理念

公共性と
企業性の調和

経営方針

- 旅客ターミナルビルにおける絶対安全の確立
- 安定的かつ効率的な旅客ターミナルビル運営
- お客さま本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナルビル運営
- 企業体質の強化およびグループ企業の総合力向上

日本空港ビルディング(株)



グループ会社

トップメッセージ

特集

トピックス

財務情報

事業別概況

株主・会社情報